

令和4年度12月補正予算債務負担行為の概要

| 事業名 | 担当課 |
|---------------|-------|
| 内部事務システム更新業務費 | 情報政策課 |

[単位:千円]

| 限度額 | 期間 | 財源内訳 | | | | |
|---------|--------------|------|---|----|-----|---------|
| | | 国 | 県 | 起債 | その他 | 一般財源 |
| 484,423 | 令和5年度～令和10年度 | | | | | 484,423 |

【事業の目的】

現行の内部事務システムは平成22年に導入し、平成29年にサーバのクラウド化、令和元年にソフトウェアのバージョンアップにより長寿命化を行ってきたが、令和5年度末に現行システムの利用期限が迫っているため、新たな内部事務システムへの更新を行う。

【事業の内容】

平成22年度に構築した内務事務システムが、令和5年度末でソフトウェアの保守期限が満了するため、保守期限までに内部事務システム更新を行う必要がある。また、行政DXに向け人事給与システム統合及び文書電子化・電子決裁等の機能拡充を図る。

- ・構築費用：312,317千円（税込）
- ・保守費用（5年分）：172,106千円（税込）（年額：34,421千円）

【これまでの関連する取り組み】

平成22年10月：一部稼働
平成23年4月：全部稼働
～平成28年3月：通常保守
～平成29年3月：延長保守（機器）
平成29年4月～：仮想環境稼働
平成30年4月：利用延長によるソフトウェアのバージョンアップ実施（V2.1→V2.3）
平成30年4月～令和6年3月：利用延長

【今後の取り組み】

12月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは次のとおり。
令和5年2月～3月：業者選定
令和5年4月～令和6年3月：システム構築
令和5年10月～：一部運用開始
令和6年4月～：運用開始